

(社)地盤工学会 室内試験規格・基準委員会
平成18年度 第2回 幹事会
議事録

日 時：平成18年12月6日(水)13:30~16:30

場 所：(社)地盤工学会会議室(3F)

出席者：後藤委員長，川崎委員兼幹事(議事録担当)，豊田委員兼幹事(以上，計3名)

配布資料：資料-1：第2回幹事会議題書

資料-2：「地盤材料試験の方法と解説」編集工程

資料-3：「地盤材料試験の方法と解説」グループリーダー候補案

(上記以外に，平成18年度第1回幹事会における配布資料を出席者が各自で持参)

議 事：

【報告事項】

1. 情報交換(資料なし)

以下の項目に関する最新の情報を共通認識とするために各担当者より説明が行われ，情報の交換を行った。

- (1) 理事会(中長期ビジョン)
- (2) 基準部会
- (3) 販売・促進WG
- (4) その他

【審議事項】

1. 赤本の改訂について(資料-2)

基準部会「学会基準の刊行に関する検討WG」の報告書(案)に記載されている「4.提案のまとめ」を中心に議論した。その主な内容は，以下に記述するとおりである。

- ・赤本は，同WGから提案されたとおり2分冊とする。また，土と岩の試験法を一緒の出版物とする。なお，2分冊のうち1冊のみでは販売できないようにする，などの具体的な販売方法については，今後検討が必要である。
- ・赤本とは別に，販売価格が2,000~3,000円程度で解説なしの規格・基準およびそれらの英訳版をまとめたCD-ROMを新たに毎年発行する。その際に，当該年度に完成した新規基準およびその解説をCD-ROMの中を含めたり，あるいは，CD-ROMの購入者でアップデートを希望する場合には購入価格を割引くなどの方法を新たに採用したりすれば，刊行物の売上げを継続的に延ばせる可能性がある。また，毎年の刊行時期について検討する必要がある。
- ・IT委員会からは，WEBを利用した基準および英訳版などをダウンロードする際の課金の設定ができないとの回答をもらっている。
- ・規格・基準および規格・基準の解説の改定間隔については，5年ごとに内容を全面的に見直し，改訂するものとする。特に，解説に関しては，最近5年間の研究成果や施工事例などを積極的に取り入れた形で全面的に改訂する。なお，規格・基準に関する毎年の更新作業は，上記のCD-ROMによる刊行事業がその役割を果たすものと位置付ける。
- ・JISとJGSのすみ分けに関しては，JISにするとJGSが売れなくなる可能性があること，

JIS にすれば JGS で容易に改定ができなくなる事、などの理由により、新規に JGS を JIS にする作業は行わないことにする。すなわち、今回の編集工程の中では公示が必要な規格・基準は少ない。

- ・編集委員会を効率的に運営するために、できるだけ WEB 会議とすること、原稿執筆料はゼロとすること、全員が集合する委員会の開催頻度は最大 2 回/年とすること、などを基本原則とする。

2. 赤本の目次および各編のグループリーダー候補（資料-3）

後藤委員長より、赤本の目次および各編のグループリーダー候補の原案について説明が行われた。その結果、以下の通りとすることで了承された。

- ・「第 1 編 総説」および「第 8 編 特殊土の試験」の取扱方法については「保留」とする。
- ・「第 2 編 物理試験」と「第 4 編 地盤材料の工学的分類」は、同じ委員会が担当する。
- ・「第 6 編 透水試験・圧密試験」を 2 つに分けるかどうかは、次回の室内試験規格・基準委員会において議論する。
- ・各編のグループリーダー候補については、次回の委員会までに幹事会で最終案を作成する。

3. 赤本の改訂に向けた組織

今回の新しい組織と前回の赤本改定時における編集委員会、幹事会、執筆委員会との対応について議論した。その主な内容は、以下に記述するとおりである。

- ・各 WG は、割り当てられた各編の改定・編集作業を行うものとする。
- ・各編の「グループリーダー＋グループ幹事（複数）」を、平成 19 年度以降の室内試験規格・基準委員会の構成員とする。
- ・各 WG は、将来的に各編の執筆委員会に対応する。
- ・各 WG（各執筆委員会）の判断によって、WG メンバー（委員）を増やしてもよい。
- ・赤本の最初のページに記載される組織名は前回改訂時と変更し、上記の組織名を掲載する。

4. 土質試験 基本と手引き

岩の試験に関する追加の必要性について議論した結果、本書籍が非常に分かりやすく、完成度が高く、評判がよいこと、主に大学、高専、工業高校における土質試験の授業において多く用いられていること、岩石試験の授業が行われている大学、高専、工業高校が少ないこと、などの理由から新たに岩の試験を追加せず、大幅な改定を行わないことにした。ただし、次回の改定時には、タイトルの「土質試験」は使わないようにする。

5. 次回委員会の開催日時

平成 18 年度の第 2 回室内試験規格・基準委員会は、基準部会および理事会が開催される前の平成 19 年 3 月 2 日(金)に地盤工学会会議室で開催する。次回委員会における主な議題は、赤本の目次、改訂に向けた組織、各 WG リーダー（前回改定時における各編の執筆委員会の委員長に相当）、編集作業工程などである。次回の委員会で承認された後は、同月に開催される基準部会および理事会の順に上申し、承認を得ることを目標とする。

6. その他

特になし

以上